

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表！ 『ホンダ・クロスカブ』が首位を獲得！

対象期間 2015年9月～11月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2015年9月～11月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。15回目となる今回は「ホンダ・クロスカブ」が首位獲得となりました！

◇ 『ホンダ・クロスカブ』が首位に！

◇ 『ヤマハ・MTシリーズ』が2～4位と好調。

◇ 『ホンダ・CBR』シリーズなどスポーツタイプも人気上昇中。



※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelifelab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：淀瀬、岩岡

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	前回	回数	メーカー・車種	リセール・プライス
1	9	3	ホンダ・クロスカブ	75.1Pt
2	7	4	ヤマハ・MT-07	73.3Pt
3	2	2	ヤマハ・MT-09 TRACER	72.9Pt
4	5	5	ヤマハ・MT-09	72.1Pt
5	-	初	ホンダ・CBR125R	71.9Pt
6	3	4	ヤマハ・SEROW250	71.8Pt
6	6	3	ホンダ・CBR600RR	71.8Pt
8	4	3	ヤマハ・YZF-R25	71.7Pt
9	-	初	カワサキ・Ninja 250 SL	71.2Pt
10	10	3	ホンダ・CRF250L	70.8Pt

◇今回対象期間 2015年9月～11月、前回対象期間 2015年6月～8月

15回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ホンダ・クロスカブ』が2位に1.8pt差を付け首位に輝きました。

“カブ×遊ぶ”のキャッチコピーを具現化するホンダ・クロスカブは、ホンダが誇るロングセラーモデルであるカブシリーズの中でもひととき異彩を放つモデルです。スーパーカブ110がベースとなっており、信頼性はお墨付き。また、最低地上高もスーパーカブより20mm高い155mmとなっており、路面状況への対応力も上がっています。AT限定二輪免許で乗れるので、気軽にどこへでも行きたい所へ連れて行ってくれる「よき相棒」として選ばれているのかもしれません。

今回のランキングでは、4車種のフルカウルモデルがランクインしました。今回対象期間（9～11月）はツーリングにちょうどいい季節であり、スポーティーな走りを楽しむライダーが多かったのではないのでしょうか。なかでも維持費が比較的安く取り回しも軽い250cc以下のバイクが人気のようです。このクラスはバイク初心者やリターンライダーにもお勧めできます。

来春に向け、新しいバイク選びをしている方も多いと思われます。今後のランキングも大きな変動を見せるのでしょうか？

引き続き、『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・クロスカブ	75.1Pt
2	ホンダ・CBR125R	71.9Pt
3	ホンダ・PCX	70.5Pt
4	ホンダ・モンキー	67.3Pt
4	ホンダ・GROM	67.3Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・SEROW250	71.8Pt
2	ヤマハ・YZF-R25	71.7Pt
3	カワサキ・Ninja 250 SL	71.2Pt
4	ホンダ・CRF 250 L	70.8Pt
5	ホンダ・PCX 150	68.9Pt

バイク王 バイクライフ研究所

・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・YZF-R3 ABS	67.8Pt
2	ヤマハ・SR400	67.4Pt
3	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	67.0Pt
4	カワサキ・Ninja400	62.1Pt
5	ホンダ・CB400 SUPERBOLD'OR	61.3Pt

・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・MT-07	73.3Pt
2	ヤマハ・MT-09 TRACER	72.9Pt
3	ヤマハ・MT-09	72.1Pt
4	ホンダ・CBR600	71.8Pt
5	カワサキ・ZRX1200DAEG	69.5Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときのプライス(=価格)を指します。

2016年1月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間12.4万台の取り扱い台数を誇るバイク買取専門店『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2016年1月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2016年1月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史